

# 企業には永続する法則があった

## ～人徳・家徳・社徳を高める経営～

「企業の寿命は30年」と言われたのは今から34年前のこと。昨今では7年とも、企業の10年存率6%とも言われるほど短命化しているようです。経営者すべての願いである「企業の永続」は社会的課題を解決する経営層の人間力にかかっています。

本講では経営者の人徳、その背景にある家徳、さらには会社に反映された社徳を高めることで企業永続を可能とする道筋を考えます。

# 平成30年3月31日(土)

場所 ウィンクあいち 906号室

受付 14:30～

開演 14:45～

17:00(終了)

— 講師 —

## 天明 茂 氏

「なぜ、うまくいっている会社の経営者は  
ご先祖を大切にするのか」 著者



参加対象者

経営者・後継者

定員 50名

参加費  
無料

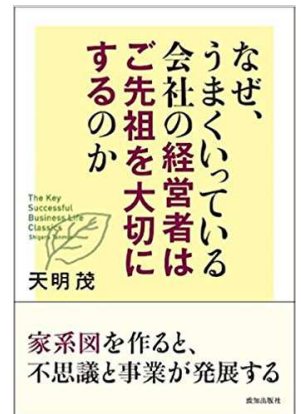
お申込み・詳細等は裏面をご覧ください

講師 天明 茂 氏

1964年明治学院大学経済学部卒業。70年公認会計士登録。日本創造経営協会を経て90年に独立。約200社の経営指導に携わる傍ら各種セミナー、講演活動を行い大学教壇に立つ。会計を「尊徳会計」と捉え「論語と算盤」で会社再建、人材育成等に携わってきた。宮城大学名誉教授、公認会計士、あおもり立志挑戦塾塾長、など

著書紹介 「なぜ、上手くいっている会社の経営者は  
ご先祖を大切にしているのか」

公認会計士である著者は、長年、その業務と平行して経営者に「家系分析」を勧めてきた。きっかけは、恩師の「先祖につなぐ」という指導だったが、著者自身「いのち」を遡ることによって、人間性が高まり、より幸せな生き方を手にすることができたという。著者が言う「家系分析」は単に家系図を作るだけではない。少なくとも三代先までの先祖の一人ひとりについて、どのような生き方をしてきたかを調べていく。そしてそれを真摯に受け入れ、見つめることによって、人間性が高まり、自らの使命に目覚め、仕事も人生も好転するようになっていくと言う。そうした事例を多くの経営者や自身の家系分析の経験を例に解説する。



開催要項

日時 平成30年3月31日(土)  
(会員総会 13:30~14:30)

講演会 受付 14:30~  
開演 14:45~17:00

場所 ウィンクあいち 906号室  
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

※ 講演会後に懇親会を予定しております。(名駅周辺)



お申し込み方法 千年経営研究会の会員へお渡しいただくか ホームページにて

貴社名 \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

ご参加者 \_\_\_\_\_

懇親会 出席・欠席